

あたらしい農業のカタチ。あたらしい消費のカタチ。



普段私たちが口にするモノ。 誰がどこで作っているんだろう？

実は生産者でさえ自分たちが作った農作物がどのような形で届き、販売されているのか、知るすべもありません。安全な農作物に感心を高まる中、生産者が出る。それは私たち生産者の顔を見せる安心のイメージ作りではなく、消費者と直接つながる関係です。

農薬肥料にさようなら。

工業製品としてお茶を売る時代から、より安全で美味しく、生産者と消費者が直接繋がるお茶へ。収穫量の安定のためや、お茶をより青く見せるためにこれまで使用していた大量の農薬・肥料に決別をし、新たな時代のお茶の栽培に一歩踏み出しています。

茶畑のオーナー。 それは日本の風景のオーナー。

茶畑のオーナーになることは、私たち日本の四季に富んだ風景のオーナーになるということです。山や川や森、畑などの美しい景観の中で、人と自然がどのように折り合いをつけ、これからの日本の風景がどうあるべきかを、私たち農家と共に考えある良い機会になればと思います。

年に6回、合計1,500g。同じ茶畑で採れた旬のお茶をお届けします。



極上新茶 5月下旬 | 200g
新茶を語らずして在来種のオーガニック茶は語れません。余韻に花の香りがあります。年々その香りが高まるのをイメージしています。

梅雨番 6月初旬 | 400g
梅雨番ってあまり馴染みのないお茶ですが、新茶と夏の二番茶との間の整枝で収穫して出来たお茶です。荒々しくも、クリアな喉越しをお楽しみ下さい。

二番茶 7月中旬 | 250g
最初に口に広がる優しい甘み、そして舌の奥ですつと留まる渋みは正に『夏のお茶』を感じさせます。在来種らしいクセも、かならず癖みつきに。

秋摘新茶 10月初旬 | 200g
夏の猛暑をもってもピクともしない。夏に耐えエネルギーを溜め込んだ秋。その上品な甘さと、艶っぽい口当たりが、心を奪います。

紅茶 10月初旬 | 50g
月ヶ瀬健康茶園とのコラボレーションでお送りする、在来種の紅茶。普段口にする舶来の紅茶よりも香りに和を感じさせる、日本の紅茶です。

熟成ほうじ 11月初旬 | 400g
正直、こんななめらかなほうじ茶初めてです。喉を、スルツ、スルツと滑るように流れていきます。身体は悦び、汗が出ます。水出し茶でも大変美味しいです。

お届けする在来種のお茶について

自然交配によって自然に育った在来種。土に種を巻くところから始まり、芽を出し、根を張り、厳しい自然に耐えながら、その土地に合ったカタチで育っていきます。その為、気候、風土、土壌などその土地でしか再現できない味を堪能できます。収穫量や均一性に欠け経営上農家には不人気の品種ですが、消費者の嗜好やライフスタイルが多様化する中で、業界の8割を占めるやぶきた品種一辺倒だけでは、品質の画一化や栽培・製造面などに多くの問題が生じています。在来種は大量生産、消費時代を経て甦ろうとしています。

FaceBook、Twitter でも情報更新中！

f umezuki @umezuki.jp

オーナー特典

1. オーナー証を発行させていただきます。
2. ご自由に茶畑を見学していただけます。
3. 収穫時期には茶摘みを体験していただけます。
4. 月1回オーナーメールマガジンをお届けします。
5. 農業を支えている社会意義、満足感を感じられます。
6. 大変貴重な在来種のお茶を楽しんでいただけます。

オーナー費用・お支払い方法

オーナー契約費用：月額1,800円（税込）×12ヶ月（発送費込み）

お支払方法：銀行振込・郵便振替・クレジット

※ お支払いは12ヶ月分一括となります。

※ 内容により、メール便・宅急便と発送方法を対応させていただきます。

お申し込み・お問い合わせは www.umezuki.jp にアクセス